

した。海事科学部ならではの貴重な機会だと思います。

—3、4年生になると、また違った面で海事科学部の良さが分かりますが、いかがですか？

浅井 クラス担任制があるのは高校と同じですが、2年次には「基礎ゼミ」というゼミ形式の授業があり、3年次には研究室に仮配属されて「総合ゼミ」が始まるので、先生との距離が近くなりますし、仲間と支え合える環境が生まれます。

長谷川 深江キャンパスと六甲台キャンパスを行き来することで、色々な人間関係が生まれて面白いですよ。深江は小規模なのでみんなのつながりが強く、学部内で濃い人間関係が生まれます。



一方、サークル活動で六甲台に行くと、学部の枠を超えて交流範囲が広がります。

—通常の勉強以外で力を入れてきたこと、これからやってみたいことは？

奥中 僕はクルーザーヨットを操るオフショアセーリング部に入っています。この部のいいところは、ほぼ全員が初心者からスタートすることです。レースに出場することもあります。活動のメインはクルージングで、各地の港を訪れ観光や食事を楽しんでいます。

浅井 僕はやっぱり部活ですね。3年生までは海事科学部の硬式野球部に入っていたのですが、4年生になる前に部員不足から廃部になってしまいました。どうしても4年生の秋まで続けたいと思っていたので、六甲台の硬式野球部に入部させてもらいました。環境は変わりましたが、そこでも練習に試合にと、充実した活動ができました。最後のリーグ戦でホームランを打ったことが印象に残っています。

—勉強と部活の両立で苦労したのではないですか？

浅井 どちらの野球部も基本は授業が優先と

いうスタイルでした。試験の時も部活を言い訳にしたくなかったので、早めに、かつ計画的に準備をしました。先輩からアドバイスや役立つ情報をもらえることも部活の強みですね。

木村 僕はこれからの学生生活で留学を経験したいと思っています。

奥中 僕は以前、大学のプログラムでオーストラリアに一月留学したのですが、チャンスがあればもう一度留学したいです。

船木 私は世界中に友だちをつくりたいと思っているので、留学もいいですが、色々な国を旅してみたいですね。

—海事科学部では海外派遣研修を実施していますから、ぜひチャレンジしてください。



自分の可能性と将来の 選択肢を広げる4年間を経て

—4年生の二人に卒業後の進路についてお聞きします。

長谷川 私は外資系メーカーの営業職に就職が決まっています。1年生のときからその会社に就職したいと考えていて、そのためには何をすればよいかという視点でロジスティクスコースを選んだ側面もあります。就職活動では海事科学部での幅広い学びを評価してもらえたと思っています。外資系は成果主義なので、ハードではありますが自分の力を試すことができますし、早くキャリアを積んでいくこともできるので頑張ります。

浅井 僕は大学院に進学し、蔵岡先生のもとで機能性材料の研究をします。学部での4年間はどんな分野に進んでも通用する知識や柔軟な考え方を養い、将来の選択肢を増やしてきました。今度は大学院でひとつの分野を深掘りしていきたいと考えています。将来的には機械メー

カーや化学系のメーカーに就職できればと思っています。

—他のみんなは、卒業後についてどう考えていますか？

奥中 エンジンメーカーでのインターンシップを経験し、やりたい仕事が見えてきました。大学院に進み、その後はエンジン関係の企業に就職するのが目標です。

木村 奥中先輩と同じくエンジン関連の仕事に就きたいと思っています。これまでは自動車のエンジンをイメージしていたのですが、最近宇宙工学やロケットも面白そうだなと思っています。以前、海事科学部のパンフレットを読んでいたらJAXAに就職した先輩がいることが分かり、「頑張ればJAXAに行けるんだ」と夢を膨らませています。



高松 商船会社に就職して航海士になることが目標ですが、最近海洋探査系の研究にも惹かれています。

船木 私も航海士になりたいと海事科学部に入ったのですが、それにこだわり過ぎないことも大事なのかなと思っています。色々な経験をする中で、もしかしたら今後、他にやりたいことが見つかるかもしれません。

—海事科学部には自分の興味や適性を探っていける環境があります。これから入学する人にも自分の可能性と将来の選択肢を広げてほしいですね。



Key words

海外派遣研修

平成29年度は3・4年次の夏季休業中にタスマニア大学で2週間、専門教育の特別プログラムの受講および異文化交流を実施。派遣者は学業成績と英語能力を基に選考し、派遣経費は学部が負担します。



インターンシップ

学生の休業日(夏季休業期間等)を利用し、企業や官公庁等において就業体験ができる制度。企業等の実情や仕事の現場に触れることにより、社会や職業について理解することができ、自分の進路についての目標や問題意識が芽生えます。学部の3年生及び大学院博士課程前期課程1年生の夏季休業期間中に実施します。

クラス担任制度

各学科に2～4人の教員が、クラス担任として4年間一貫して、学生一人ひとりをサポート。これは神戸商船大学時代からの伝統であり、学外からも評価が高い制度です。

基礎ゼミ

教員1人につき学生2～4人という、少人数制の「基礎ゼミ」を2年次に開講。学び方やコース選択のアドバイスなど、教員や先輩学生が、きめ細かく指導してくれます。

総合ゼミ

4年次からの研究をスムーズに進められるよう、3年次後期から研究室に仮配属します。研究活動はもとより、就職や大学院進学についても、先生や先輩に相談することが可能です。